

科目区分	専門教育科目	科目名	児童家庭福祉		科目コード	18Y460	担当者	長尾 久美子			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
児童福祉法制度や児童福祉の歴史、保育士資格の内容など、児童福祉の専門職として必要な基本的な知識や倫理などを修得する。						1. 「 <b>尽心</b> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創造断力	⑤ 実行体性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	児童福祉の目的や歴史を理解する。										
2.	児童福祉法及び関連法制度を理解する。										
3.	児童福祉の専門職としての保育士の役割を理解する。										
4.								◎	○	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（60%） 提出物（20%） 受講態度（20%）					
講義を基本とするが、子供と家庭に関する放送番組の録画やDVDなどを使用したりして、社会の現状に照らしながら、具体的に考えられるようにする。											
準備学修						課題等への対応					
授業計画に掲げる主題に対して、事前に教科書を読んでおくこと。日頃から、関連書籍や放送番組など見る習慣をつけ、子供を取り巻く社会状況に関心を持つこと。通常の学習時間は毎回30分程度とするが課題を深めたり、試験等に対しては相当の時間を確保すること。						レポート等には目を通し、コメントを付けて学生に戻す。					
授業計画											
第1回	保育と児童家庭福祉（児童家庭福祉の視点）										
第2回	児童と家庭を取り巻く現状										
第3回	子どもの権利										
第4回	児童家庭福祉の歴史										
第5回	児童家庭福祉の制度と法体系（児童福祉法）										
第6回	児童家庭福祉に関係する法律										
第7回	児童家庭福祉の取り組み（子育て支援サービスと児童の健全育成）										
第8回	児童家庭福祉の取り組み（母子保健サービス）										
第9回	児童家庭福祉の取り組み（保育サービス）										
第10回	児童家庭福祉の取り組み（児童虐待とDV）										
第11回	児童家庭福祉の取り組み（社会的養護）										
第12回	児童家庭福祉の取り組み（ひとり親家庭への福祉）										
第13回	児童家庭福祉の取り組み（障がいのある子どもの福祉）										
第14回	児童家庭福祉の取り組み（情緒障がい・少年非行問題）										
第15回	児童家庭福祉の専門職と連携										
試験	定期試験を実施する										
教科書	教科書 「保育と児童家庭福祉」 編集；櫻井奈津子 出版；（株）みらい				受講生へのメッセージ	保育士は児童福祉の専門職です。一人一人子供の幸せを守ることを共に考えましょう。					
参考書等	なし										